

**製品名: TYRO3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80593**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含むPBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

**抗原情報**

遺伝子名	TYRO3
別名	BYK; Brt; Dtk; RSE; Sky; Tif; FLJ16467
遺伝子ID	7301.0
SwissProt ID	Q06418
免疫原	大腸菌で発現したTYRO3の精製された組み換え断片。

**背景**

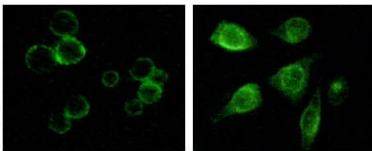
チロシンタンパク質キナーゼ (TYRO3) は、Tyr タンパク質キナーゼファミリー (AXL/UFO サブファミリー) に属します。受容体チロシンキナーゼのUFOファミリーは、サブファミリーメンバーであるRse (Tyro3またはSkyとも呼ばれる) とUFO (Tyro7または

Axlとも呼ばれる)で構成されています。Rseには、BrtとEtk-2と呼ばれる2つの異なるアイソフォームが記載されています。BrtはC末端がRseと異なりますが、より重要なのは、Rseに存在するN末端の31アミノ酸のシグナルペプチド配列を欠いており、この配列が27アミノ酸のBrt特異的配列に置き換えられていることです。この選択的スプライシングの結果、細胞表面に発現するRseとは異なり、Brtは細胞質に存在することが示唆されています。Etk-2もN末端シグナルペプチドを欠いており、この配列が45アミノ酸のEtk-2特異的配列に置き換えられています。タンパク質キナーゼは真核細胞におけるシグナル伝達の大部分を媒介し、細胞代謝、転写、細胞周期の進行、細胞骨格の再配置と細胞運動、アポトーシス、分化を制御します。

## 研究分野

-

## 画像データ



メタノール固定した MCF-7 細胞および HepG2 細胞の免疫蛍光染色。膜および細胞質の局在を示しています。